ユースケース記述

ユースケース

グラフを表示する

# アクター

利用者

システム

# 目的

記録されている内容をグラフ化し、傾向を分析する。

# 要約

1. 利用者は、グラフ表示機能から、表示したいグラフの種類を選択する。
2. システムは、選択された種類のグラフを作成する。
3. システムは、作成したグラフを表示する。

# ナレーティブ

山田さんは、毎日幾ら位ずつお小遣いを使っているか把握するために、毎日の利用金額を、棒グラフとして1か月分表示した。

週末になると利用する金額が増える傾向にあることが分かった。

山田さんは、買い物したものの、費目ごとの割合を、円グラフとして1か月分表示した。

お小遣いを、お菓子と本の購入に多く割いていることが分かった。

# 事前条件

なし